

# クオリティインディケーター(QI)成果報告

## 〔感染管理部門〕

### 指標名

MRSA 新規院内発生率

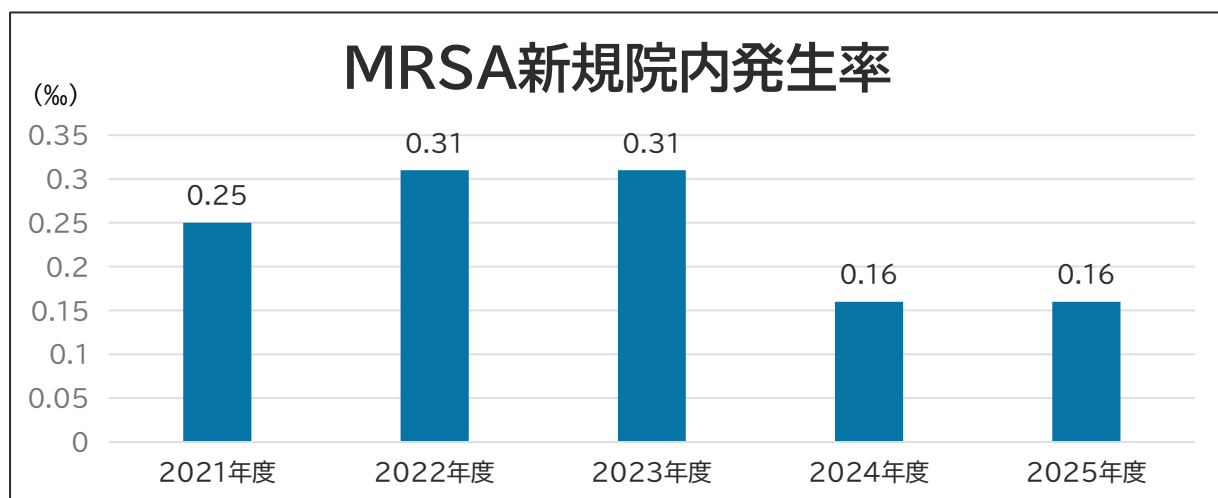
### 目標・ゴール

病院全体での医療関連感染対策への取り組み強化により、薬剤耐性菌、MRSA 新規院内発生率の低減を図る。

### 目標・ゴール達成による効果

医療関連感染の発生抑制は、感染症による重症化リスクの低減、医療費の抑制および入院期間の延長防止につながり、患者の身体的・精神的負担ならびに経済的・社会的負担を軽減できる。また、薬剤耐性菌や MRSA の新規院内発生を抑制することで、アウトブレイクを予防し、安全で質の高い医療の提供および適切な医療環境の維持に貢献する。

### 目標・ゴールに対する成果の状況



#### 当院の定義・算出方法

$$\frac{\text{分子：MRSA発生率（持ち込み症例は除く）}}{\text{分母：在院総患者数}} \times 1000 (\text{‰})$$

※入院後、48 時間以降に採取された検体から MRSA が検出されたもの（分子）

※「‰（パーミル）」千分率で表しています

## 目標・ゴール達成度

※該当項目に☑をつけてください

- ☐S :大幅に目標を上回った
- ☐A<sup>+</sup>:目標を多少上回って達成
- ☒A :目標を達成
- ☐B<sup>+</sup>:目標を少し下回った
- ☐B :目標を下回った
- ☐C :目標を大幅に下回った
- ☐ー :外的要因により継続困難となった。

## 目標・ゴールの課題・改善策

急性期治療後の患者や、長期入院および抗菌薬の投与歴を有する患者では、薬剤耐性菌の発生と拡大リスクが高い。

そのため、病院全体で感染対策を継続的かつ組織的に推進するとともに、サーベイランスを通じて定期的な評価・分析を行い、薬剤耐性菌の新規発生および拡大防止に努め、安全で質の高い医療の提供を目指す。